**ハンドマイク街頭演説原稿例　　医療改悪２法案・河井議員辞職**

　　二〇二一年三月三一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、緊急事態宣言が解除されて一週間が過ぎ、新型コロナウイルスの感染者数は埼玉県も含め全国的に前の週を上回っています。このままでは、感染再拡大による「第４波」が現実味をおび、始まったばかりのワクチン接種にも支障をきたす恐れがあります。感染力の高い変異ウイルスによる感染爆発を封じ込めるために、日本共産党は、無症状者を発見・保護するためのモニタリング検査を一日１０万件以上に増やすことなど検査体制の強化、営業補償は、事業規模に応じた協力金制度に改めるとともに、持続化給付金の第２弾を支給することを強く求めていきます。日本共産党は、ワクチン接種と同時並行でコロナ対策を抜本的に強化するよう、引き続き力を尽くします。

　みなさん、コロナによる医療崩壊が大問題となるなか、いま二つの重大な医療改悪法案が国会で審議されています。一つは、公立・病院の再編統合や高度急性期病床を２０万床減らす「病床削減推進法案」、もう一つは、７５歳以上の高齢者の医療費負担を１割から２割に引き上げる「高齢者医療費２倍化法案」です。埼玉県は、医師数・病床数とも全国で最下位にもかかわらず、急性期病床を７３００床以上も減らす計画となっています。ただでさえ少ない病床をさらに減らすなど、決して認められません。新型コロナ感染拡大の前に立てた削減計画は白紙撤回するとともに、自治体や病院が新型コロナ対応に集中できるよう国の支援を強く要求していきます。さらに、高齢者へのペナルティーともいうべき高齢者の窓口負担の引き上げは中止するよう強く求めます。生きることを励し、安心して老後を迎えられる社会をつくるためにご一緒に声をあげていきましょう。

　みなさん、選挙買収事件で起訴された河井元法相が、国会議員を辞職することとなりました。辞職は当然ですが、あまりにも遅すぎます。今回の買収事件の核心は、自民党本部から地元支部に交付された１億５０００万円が買収資金の原資ではなかったかどうかです。交付金の８割、１億２千万円は政党助成金です。血税で票を買ったとしたら、安倍元首相や菅首相、自民党の政治的責任は極めて重大です。河井氏は国会でその真相を語るべきであり、自民党も「他山の石」などとひと事とせず、率先して調査をして国会に報告すべきです。日本共産党は、河井夫妻による買収事件の真相解明に引き続き力をつくします。

　みなさん、３月２９日で安保法制＝戦争法施行から丸５年となりました。米軍と自衛隊の海外での共同演習の拡大など、いよいよその危険性が高まっています。安倍・菅自公政権による国会軽視・憲法破壊の強権政治のはじまりが、憲法違反の安保法制の強行にありました。あらためて安保法制＝戦争法の廃止を強く求めるとともに、来る総選挙では、野党共闘の原点となった「立憲主義の回復」のため、野党よる政権交代を何としても実現するため力をつくします。日本共産党への大きなご支援をよろしくお願いします。

最後に、スクープ連発の「しんぶん赤旗」が、いま広く注目されています。この機会に「しんぶん赤旗」をぜひご購読いただきますようお願いしまして、この場所をお借りしての訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）